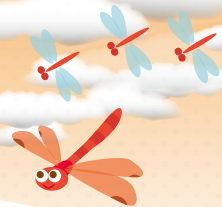




わくわく倶楽部



江口グループ

第219号

令和7年10月発行

加賀温泉郷寛平ナイトマラソン完走！ ゴールの瞬間に感じたもの

江口グループ 代表取締役社長 江口 充



皆 さん、こんにちは！ 今月も江口グループわくわく倶楽部のニュースレターをお読みいただきありがとうございます。うございます。

私ごとですが、先月よりマラソン大会に出場し、スポーツの秋を満喫しています。9月13日に加賀市で開催された「加賀温泉郷寛平ナイトマラソン」。大変厳しい大会でしたが、無事ゴールすることができました！

このマラソンは、間寛平さんをはじめ吉本の芸人さんたちが多数応援に駆けつけてくださり、お笑いライブまで開催される、楽しくて特別な大会です。走っている最中も沿道で芸人さんが声をかけてくださり、思わず笑ってしまう場面が何度もありました。苦しい道中の大きな励みになったことは間違いありません。

とはいえ、コースは非常に厳しいものでした。山中温泉をスタートし、九谷ダムや県民の森を通る全長32km。フルマラソンより10km短いものの、高低差はなんと400m。400mを駆け上がり、降りてくるというハードなコースです。さらに16:00スタートのため、走るうちに辺りは暗くなり、大半は真っ暗な山道を走ることになります。昼間のマラソンであれば風景や沿道の応援が力になりますが、ナイトマラソンは全く違います。頼れるのは小さなヘッドライトの光と、自分の心と体だけ。孤独と向き合いながら進む時間でした。

今 回の目標は「とにかく完走」。特に私は登り坂が大の苦手、普段のランニングでも極力避けているほどです。ですがこの大会は最初の20kmが延々と続く登り坂。だからこそ「登りに負けず完走する」という気持ちで挑みました。10kmを過ぎた頃には「ただただしんどい」という言葉しか出てきません。足は重く、呼吸は乱れ、何度も「もう止めようかな」と思いました。それでも一歩ずつ前に進めたのは、「ここまで準備してきた」という自分への信頼と、沿道から聞こえる応援、そして共に走るランナーの姿でした。県民の森を過ぎると急勾配の「心臓破りの坂」が待ち構えており、ここでは歩かざるを得ませんでした。それでも登り切った頂上からの景色は、それま

での疲れを吹き飛ばすほどの輝きに満ちていました。頂上に立った瞬間の達成感は言葉にできないほど大きく、「走ってきて良かった」と心から思えました。

そこから始まる10kmの下り坂。暗闇の中、ヘッドライトの光だけを頼りに走る道。風や空気、足に伝わる疲労感すらも、今では特別な思い出です。そしてついにゴールが見えてきました。足は限界に近づいていましたが、ゴールラインを越えた瞬間、全身を包んだのは圧倒的な達成感。頂上で味わった感動に続き、ゴールでもう一度味わうことができました。ひとつの大会で二度も達成感を感じられるマラソンは、なかなかありません。登り切った瞬間、そしてゴールした瞬間。二度も心を震わせてくれた「加賀温泉郷寛平ナイトマラソン」は、間違いなく忘れられない大会となりました。

応援してくださった皆さん、本当にありがとうございました。そして一緒に走ったランナーの皆さんも、本当にお疲れさまでした。何よりも、ボランティアの皆さんに心から感謝を伝えたいです。飲み物を差し出してくれた手、夜の中で笑顔を絶やさず応援してくれた姿。その一つひとつが積み重なって、ランナーを支えてくれていました。「完走できたのはボランティアの皆さんのおかげ」——これは決して大げさではなく、本当にその一言に尽きます。

そ れぞれの挑戦、それぞれの達成感が、この大会を特別なものにしてくれました。厳しい大会でしたが、また来年、この地で同じ感動を味わいたいと思います。

そして私の挑戦は続きます。10月には金沢マラソン、12月には湘南国際マラソンに出場予定です。次の挑戦に向けて練習に励んでいます！



寛平師匠ありがとうございました！

江口グループ現場だより

【入社から半年。3人の成長を振り返って】

みなさんこんにちは。広報部の庄源です。

4月に入社した3名の新入社員も、この10月で入社から半年を迎えました。

日々の仕事に真剣に向き合い、仲間と関わりながら学びを重ね、3人とも成長を実感しているようです。

安田さん

挑



色々なことに挑戦できているから

「わからないことを自分で調べる癖がつきました」と話す安田さん。
現場での経験を通じて多くを学びながら「もっと土木を知り、たくさんのスキルを身につけたい」と未来への目標を掲げてくれています。

加戸さん

楽



毎日新しいことばかりで
学ぶことが多くて楽しいから

「自分からコミュニケーションをとれるようになったことが一番の成長です」と話す加戸さん。
新しいことを学ぶ毎日を楽しみながらこれからも「毎日笑顔で働きたい」と目標を語ってくれました。

高谷さん

挑



未経験で入社して
たくさん挑戦しているから

入社当初は初めての挑戦ばかりだった高谷さん。
半年経ち「測量を一人で任せてもらえるようになったことが嬉しい」と振り返り、
「これからも挑戦を続け、一人で任せてもらえる仕事を増やしたい」と意欲を見せてくれました。



3人の言葉から共通して感じられるのは「挑戦」と「成長」
自分のペースで一步步前に進んでいる姿が印象的でした。
江口組は、若手社員の成長を温かく見守りながら共に歩みを
進めていきます。

これからの3人の活躍に、ぜひご期待ください。



このニュースレターの他に、江口組公式SNSでも頻繁に情報を発信しています。いいね、フォロー、登録を



(株)江口組公式Facebookページ

www.facebook.com/eguchigumi/



(株)江口組公式 X(旧Twitter)

@eguchigumi



土木・建築・造園・ドライアイス洗浄と江口グループの工事現場を紹介します。
皆さんのご近所で見かけた時はよろしくお願いします(^^)／



地域と仲間に支えられて... 小松市建設優良工事を受賞 ✨

皆 さんこんにちは。広報部のかわさきです。
今回は嬉しいお知らせです❀ このたび江口組は、小松市下牧町で施工した九竜橋川排水区雨水幹線函渠整備工事において、「小松市建設優良工事」を受賞いたしました！

8 月26日に開催された表彰式では、社長が受賞者を代表して謝辞を述べました。
「共に頑張ってきた仲間たちに、心から感謝し、誇りに思います」

「この表彰は社員にとって大きな励みとなり、“あの人のようになりたい”と思える目標や憧れになります」

今回の受賞は、現場で尽力した社員はもちろんのこと、支えてくださった全社員の力があってこそ実現できたものです。部署を越えて一人ひとりが連携し、「和の力」で取り組んだ成果が、このような形で評価されたことを大変嬉しく思います。そして何より、日頃からあたたかく見守り、工事にご理解とご協力をくださった地域の皆さまのおかげで、

このような賞につながりました。
本当にありがとうございます。

江 口組は今後も
「みんなのまち
をつくる土木」として、
より良い品質と安全を
追求し、地域の皆さま
から信頼される企業を
目指していきます！



工事の完成写真です❀
これで大雨が降っても安心です！

小さなことでも感謝の気持ちを 伝えられる会社へ

皆 さんこんにちは。広報部のきゅうだです。
江口組は今期から「ありがとうが溢れる会社」を目指す取り組みを始めました。社員同士が日々の中で感じた感謝の気持ちを気軽に伝え合えるよう、「ありがとうカード」を用意し、ちょっとした気づきや嬉しかったことをカードに書いて、「ありがとうBOX」に投函します。集まったカード

は会議室に掲示し、誰もが目にできるようにしています。

力 ードには、「頑張っている姿から勇気をもらっています」「いつも元気をくれてありがとうございます」など、普段なかなか口に出せない“ありがとう”の言葉や、気づきにくい小さな気遣い・努力などが書かれており、読むと自然に温かい気持ちになります！

また、「ありがとうカード」をきっかけに部署や年齢を超えたコミュニケーションや信頼関係も生まれています。

今後も江口組は、社内はもちろん、地域やお客様へも感謝の気持ちを届けられるような会社を目指していきます！



して現場や社内の様子、社内行事、現場監督の働きぶりを見てください！毎日どれかは必ず更新しています！



(株)江口組公式 Instagram
eguchigumi



YouTube

(株)江口組公式 YouTube
えぐチャンネル！



スタッフ通信

10月に入り、朝晩はぐっと冷え込むようになりましたが、日中は過ごしやすい気候になってきました。

ただ、急な気温の変化で体調を崩しやすい季節でもありますので、みなさん体調管理にはお気をつけください。

さて、今月も恒例の【元気でる食べ物】を聞いてみました！

美味しいごはんを食べて、元気に秋を楽しみましょう——！！

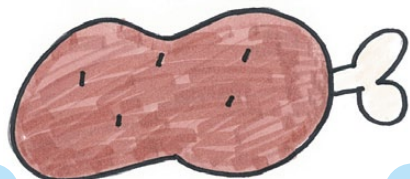
総務部
渡邊 友浩



工務部
吉村 早希



にく!!



にんにくたっぷりの
野菜ラーメン！



クリエイション江口
徳田 律平



工務部
加戸 虹帆



納豆ごはん

焼肉



ご意見・ご感想などがございましたら
SNS または 同封してあります
アンケートハガキにてご連絡下さい!!



発行元

EGUCHI

江口グループ

株式会社 江口組

小松市殿町2丁目66番地
TEL.0761-24-1311代

eguchigumi@eguchi-group.co.jp